

平成22年度 行財政再生シート

NO. 7-2

項目名	商工振興施設	事業名	陶磁器会館管理運営事業
担当部	環境経済部	担当課等	商工観光課

この事業に係る費用を市民一人あたりに換算すると **3 円** です。

※事業費（平成22年度予算額）を人口5万5千人で除した額

1. 事業の目的・概要等

(1) 事業の目的	・焼き物の紹介及び展示即売など、窯業の振興を図るため設置。			
(2) 事業の概要	・昭和45年10月竣工。・鉄筋コンクリート造3階建て（延べ1,380㎡）、敷地2,978㎡ ・1階：常滑焼の展示即売場、2階：とこなめ焼(協)及び常滑卸商業(協)の事務所、3階：会議室、駐車場の休日有料化 ・当初から運営委員会が管理運営。現在も指定管理者に任意指定。（別紙「陶磁器会館の移転」を参照）			
(3) 実施・運営方法		1. 市が直接実施・運営		
	○	2. 外部へ委託または指定管理	委託先等	常滑市陶磁器会館運営委員会
		3. 団体等への補助金により実施	実施主体	
		4. その他（ ）		
(4) 実施期間など	開始年度	昭和45年度	終了予定年度	予定なし
(5) 根拠法令など	常滑市陶磁器会館の設置及び管理に関する条例			
(6) 近隣市町・類似団体等の状況	・指定管理者：知多市「梅の館」 ・直営：美浜町「食と健康の館」 ・民間団体：大府市「げんきの里（JA）」、南知多町「豊浜魚ひろば(組合)」、武豊町「ぎやらりい夢乃蔵(民間)」			

2. 事業費の推移

(千円)

-		H19決算額	H20決算額	H21決算額	H22予算額	
支出	事業費	1,440	1,440	0	0	
	人件費※	正規	0.0	0.0	0.0	0.0
		再任	160	156	138	138
		臨時	0	0	0	0
	支出計	1,600	1,596	138	138	
	財源	国・県支出金				
地方債						
その他（ ）						
一般財源		1,600	1,596	138	138	
市民1人あたり(円)★	29	29	3	3		
投資事業費	全体事業費		～H22末見込	H23以降	進捗率	
	うち一般財源		うち一般財源	うち一般財源	(H22末見込)	

※人件費の算出単価 ・正規職員：H19/8,000千円、H20/7,800千円、H21/6,900千円、H22/6,900千円

・再任用職員：H19/2,900千円、H20/2,800千円、H21/2,600千円、H22/2,400千円

・臨時職員：H19～H22/1,000千円

★支出計を人口55,000人で除した額

3. 事業実績・計画と成果等

	H19実績	H20実績	H21実績	H22計画
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・1階：常滑焼の展示即売、ギャラリー運営、観光案内 ・2階：焼き物2団体への事務所賃貸 ・3階：会議室の貸出し ・屋外：喫茶店へ建物賃貸、自販機、駐車場管理 ・敷地外：バス駐車場管理 ・入館者数：97,920人 ・バス：1,131台 ・売上：31,071千円	<ul style="list-style-type: none"> ・1階：常滑焼の展示即売、ギャラリー運営、観光案内 ・2階：焼き物2団体への事務所賃貸 ・3階：会議室の貸出し ・屋外：喫茶店へ建物賃貸、自販機、駐車場管理（休日有料化を試行） ・敷地外：バス駐車場管理 ・入館者数：103,600人 ・バス：1,201台 ・売上：32,900千円	<ul style="list-style-type: none"> ・1階：常滑焼の展示即売、ギャラリー運営、観光案内 ・2階：焼き物2団体への事務所賃貸 ・3階：会議室の貸出し ・屋外：喫茶店へ建物賃貸、自販機、駐車場管理（休日有料化を実施） ・敷地外：バス駐車場管理 ・入館者数：144,050人 ・バス：1,059台 ・売上：31,260千円 ・駐車場収入：6,876千円	<ul style="list-style-type: none"> ・1階：常滑焼の展示即売、ギャラリー運営、観光案内 ・2階：焼き物2団体への事務所賃貸 ・3階：会議室の貸出し ・屋外：喫茶店へ建物賃貸、自販機、駐車場管理 ・敷地外：バス駐車場管理 ・入館者数：未定 ・バス：未定 ・売上：未定 ・駐車場収入：未定
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・常滑焼のPR、やきもの散歩道の出発点としてバスの乗降やトイレ休憩等、一定部分貢献。 ・駐車場の休日有料化を施行。利用料金として指定管理料から差し引くこととしており、H21は市の持ち出し無し。 			

4. 事業の必要性

必要性	チェック数	法定等の実施義務がある	緊急度が高い	類似(代替)事業が存在しない
	0	実施目的が未達成である	政策・施策の中で優先度が高い	受益者が多く市民ニーズが高い
		市以外では実施不可能である	継続しなければ効果が表れない	市長の公約に掲げている
	廃止・凍結・休止・先送りした場合の影響	<ul style="list-style-type: none"> ・やきもの散歩道の出発点という好立地にあり、施設の老朽化は著しい。観光客向けの”おもてなし”の施設として改修は必要と考える。 		
想定される代替事業		なし		-
	市既存事業の活用	市（担当課）		
		既存の事業		
	民間事業の活用	想定事業主体		
代替事業				

5. 事業の自己評価(今後の方向性・課題など)

<ul style="list-style-type: none"> ・建設当時の経緯経過はあるものの、40年が経過した現在、業界で組織した任意団体が市の敷地・施設を無償使用すること、常滑焼の展示即売場は公の施設か否か、個人経営の同種の店舗との競合はないか、など課題はある。 ・実態を継続するための適切な措置を講ずるか、観光機能を持たせた施設としてリニューアルを図るかなど、課題がある。
